

ダイワ・アクティブ リート・ファンド (年4回決算型)

運用報告書（全体版）

第45期（決算日 2019年8月13日）

第46期（決算日 2019年11月11日）

（作成対象期間 2019年5月11日～2019年11月11日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、わが国のリート（不動産投資信託）に投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／不動産投信（リート）	
信託期間	約14年11カ月間（2008年6月3日～2023年5月10日）	
運用方針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの受益証券
	ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。基準価額の水準によっては、ポートフォリオの流動性等を考慮し、分配金額を決定する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

最近10期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			東証REIT指数 (配 当 込 み)		投資信託証券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 込 み 分 配 金	期 中 騰 落 率	(参考指数)	期 中 騰 落 率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
37期末(2017年 8 月10日)	13,520	150	△4.3	3,175.65	△4.1	98.0	－	1,967
38期末(2017年11月10日)	12,888	150	△3.6	3,055.50	△3.8	97.1	－	1,508
39期末(2018年 2 月13日)	13,305	150	4.4	3,194.70	4.6	97.8	－	1,585
40期末(2018年 5 月10日)	13,853	150	5.2	3,376.04	5.7	98.7	－	1,641
41期末(2018年 8 月10日)	13,922	150	1.6	3,431.91	1.7	97.8	－	1,728
42期末(2018年11月12日)	14,169	150	2.9	3,539.86	3.1	98.6	－	1,805
43期末(2019年 2 月12日)	14,540	150	3.7	3,678.56	3.9	98.8	－	1,821
44期末(2019年 5 月10日)	14,914	150	3.6	3,823.37	3.9	98.6	－	1,808
45期末(2019年 8 月13日)	16,088	150	8.9	4,161.83	8.9	98.6	－	1,722
46期末(2019年11月11日)	17,166	150	7.6	4,467.84	7.4	97.3	1.9	1,880

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

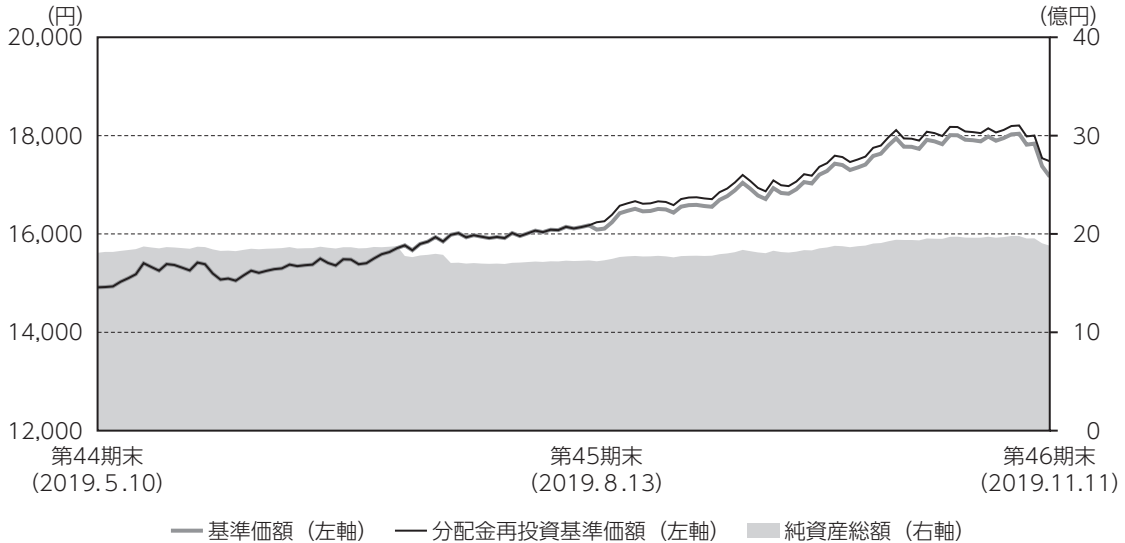
(注3) 投資信託証券および不動産投信指数先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注4) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第45期首：14,914円

第46期末：17,166円（既払分配金300円）

騰 落 率：17.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

「ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド」の受益証券を通じて、わが国のリートに投資した結果、事業環境の良好さに比して割安感があるJリート市場に注目が集まったことなどを背景にJリート市況が上昇したことにより、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・アクティブJリート・ファンド (年4回決算型)

	年 月 日	基 準 価 額		東証REIT指数 (配 当 込 み)		投資信託証券 組 入 比 率	不動産投信 指 数 先 物 率
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
第45期	(期首) 2019年 5 月10日	円 14,914	% －	3,823.37	% －	% 98.6	% －
	5 月末	15,196	1.9	3,889.57	1.7	98.6	－
	6 月末	15,404	3.3	3,947.76	3.3	98.4	－
	7 月末	16,067	7.7	4,120.33	7.8	98.6	－
	(期末) 2019年 8 月13日	16,238	8.9	4,161.83	8.9	98.6	－
第46期	(期首) 2019年 8 月13日	16,088	－	4,161.83	－	98.6	－
	8 月末	16,590	3.1	4,275.94	2.7	98.1	－
	9 月末	17,401	8.2	4,477.77	7.6	97.8	－
	10月末	17,949	11.6	4,625.77	11.1	97.6	1.2
	(期末) 2019年11月11日	17,316	7.6	4,467.84	7.4	97.3	1.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.5.11～2019.11.11)

■Ｊリート（不動産投信）市況

Ｊリート市況は上昇しました。

Ｊリート市況は、当作成期首より、世界的に金融政策が緩和方向となる中で各国の長期金利が低下し、Ｊリート市場の相対的に高い配当利回りに注目が集まり、上昇しました。９月以降は長期金利が上昇する局面もありましたが、Ｊリート市場の下落幅は限定的で、１０月末までは上昇基調が継続しました。１１月に入ると、日米長期金利の上昇や東証ＲＥＩＴ指数が２００７年以来の高値をつけたことなどから利益確定とみられる売りが入り、当作成期末にかけて下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

ポートフォリオについて

(2019.5.11～2019.11.11)

■当ファンド

「ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

リートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の８０％程度以上に維持することを基本としており、おおむね９５～９８％台程度で推移させました。また、東証ＲＥＩＴ指数先物への投資も行い、先物と合計で９５～１００％程度で推移させました。リート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じてみると、ジャパンリアルエステイト、森ヒルズリート、大和ハウスリートなどを東証ＲＥＩＴ指数と比較してオーバーウエートとし、日本ビルファンド、ユナイテッド・アーバン、ＧＬＰ等をアンダーウエートとしました。

ベンチマークとの差異について

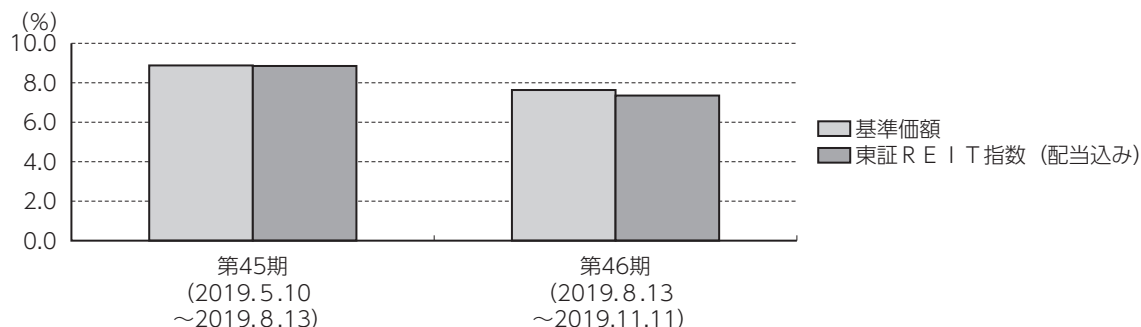
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指数として東証REIT指数（配当込み）を用いています。当作成期における参考指数の騰落率は16.9%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は17.2%となりました。

投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回った日本プロロジスリート、野村不動産マスターファンド、大和ハウスリートをオーバーウエートとしていたことや、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回ったジャパン・ホテル・リートをアンダーウエートとしていたことなどがプラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回った星野リゾート・リートや福岡リートをオーバーウエートとしていたこと、参考指数を上回ったユナイテッド・アーバンや阪急阪神リートをアンダーウエートとしていたことなどが、マイナス要因となりました。

このほか、運用管理費用や売買コスト等がマイナス要因となりました。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第45期		第46期	
	2019年5月11日 ～2019年8月13日		2019年8月14日 ～2019年11月11日	
当期分配金（税込み）（円）	150		150	
対基準価額比率（％）	0.92		0.87	
当期の収益（円）	150		150	
当期の収益以外（円）	—		—	
翌期繰越分配対象額（円）	7,548		8,581	

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第45期		第46期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	111.14円	✓	162.25円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,190.16		1,019.45
(c) 収益調整金		5,500.13		5,579.50
(d) 分配準備積立金		896.80		1,970.11
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)		7,698.26		8,731.33
(f) 分配金		150.00		150.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)		7,548.26		8,581.33

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第45期～第46期 (2019.5.11～2019.11.11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	85円	0.520%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は16,393円です。
（投 信 会 社）	(40)	(0.246)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(40)	(0.246)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 銀 行）	(4)	(0.027)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	8	0.051	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
（投資信託証券）	(8)	(0.051)	
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監 査 費 用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	94	0.574	

（注1）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

（注2）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

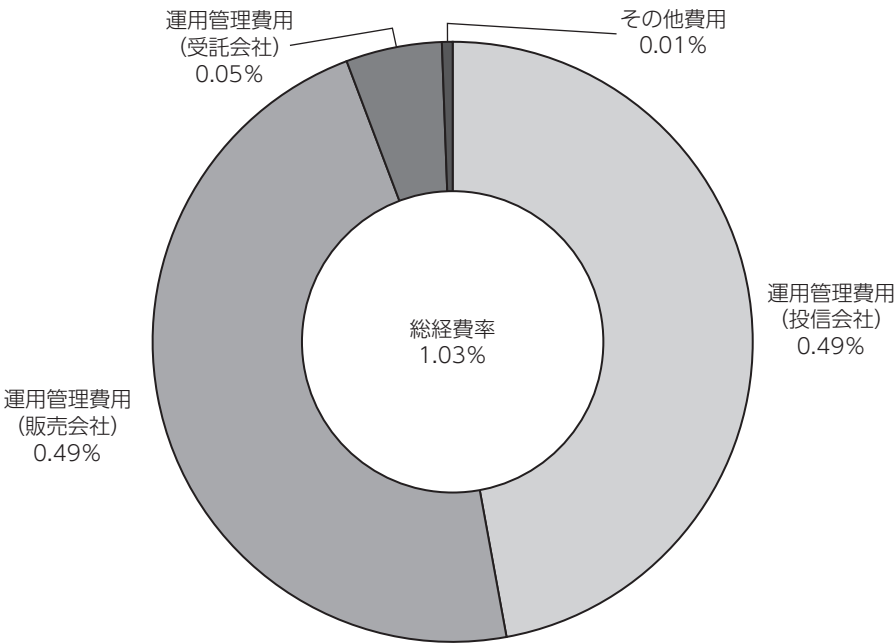
（注3）各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

（注4）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.03%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

決 算 期	第 45 期 ～ 第 46 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
ダイワJ-REIT アクティブ・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	29,660	93,418	105,627	314,836

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

(1) ベビーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(2) マザーファンドにおける当作成期中の利害関係人との取引状況

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

決 算 期	第 45 期 ～ 第 46 期					
	買付額等 A			売付額等 C		
区 分	うち利害 関係人との 取引状況B	B/A		うち利害 関係人との 取引状況D	D/C	
投資信託証券	百万円 27,613	百万円 7,360	% 26.7	百万円 34,989	百万円 9,147	% 26.1
不動産投信指数 先物取引	2,303	—	—	—	—	—
コール・ローン	121,961	—	—	—	—	—

(注) 平均保有割合1.5%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合。

(3) 利害関係人の発行する有価証券等

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

種 類	第 45 期 ～ 第 46 期		
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド		
	買 付 額	売 付 額	第46期末保有額
投資信託証券	百万円 —	百万円 25	百万円 2,136

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(4) 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となつて発行される有価証券

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

種 類	第 45 期 ～ 第 46 期
	ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド
	買 付 額
投資信託証券	百万円 685

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

(5) 当作成期中の売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

項 目	第45期～第46期
売買委託手数料総額 (A)	931千円
うち利害関係人への支払額 (B)	317千円
(B)／(A)	34.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当作成期における当ファンドに係る利害関係人とは、大和証券、大和証券オフィス投資法人です。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	第44期末	第 46 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	649,511	573,544	1,879,104

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月11日現在

項 目	第 46 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド	1,879,104	98.7
コール・ローン等、その他	24,617	1.3
投資信託財産総額	1,903,721	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2019年8月13日)、(2019年11月11日)現在

項 目	第 45 期 末	第 46 期 末
(A) 資産	1,743,082,544円	1,903,721,628円
コール・ローン等	1,727,758	7,187,288
ダイワJ-REITアクティブ・マザーファンド(評価額)	1,720,494,786	1,879,104,340
未収入金	20,860,000	17,430,000
(B) 負債	20,882,673	22,975,109
未払収益分配金	16,056,924	16,434,359
未払解約金	103	1,737,701
未払信託報酬	4,799,946	4,752,165
その他未払費用	25,700	50,884
(C) 純資産総額(A－B)	1,722,199,871	1,880,746,519
元本	1,070,461,640	1,095,623,999
次期繰越損益金	651,738,231	785,122,520
(D) 受益権総口数	1,070,461,640口	1,095,623,999口
1万口当り基準価額(C／D)	16,088円	17,166円

* 第44期末における元本額は1,212,741,479円、当作成期間（第45期～第46期）中における追加設定元本額は75,690,255円、同解約元本額は192,807,735円です。
* 第46期末の計算口数当りの純資産額は17,166円です。

■損益の状況

第45期 自2019年5月11日 至2019年8月13日
第46期 自2019年8月14日 至2019年11月11日

項 目	第 45 期	第 46 期
(A) 配当等収益	△ 1,068円	△ 384円
受取利息	89	5
支払利息	△ 1,157	△ 389
(B) 有価証券売買損益	144,127,836	134,248,567
売買益	158,033,445	135,909,553
売買損	△ 13,905,609	△ 1,660,986
(C) 信託報酬等	△ 4,825,646	△ 4,777,368
(D) 当期損益金(A + B + C)	139,301,122	129,470,815
(E) 前期繰越損益金	95,999,718	215,850,959
(F) 追加信託差損益金	432,494,315	456,235,105
(配当等相当額)	(588,768,664)	(611,303,726)
(売買損益相当額)	(△156,274,349)	(△155,068,621)
(G) 合計(D + E + F)	667,795,155	801,556,879
(H) 収益分配金	△ 16,056,924	△ 16,434,359
次期繰越損益金(G + H)	651,738,231	785,122,520
追加信託差損益金	432,494,315	456,235,105
(配当等相当額)	(588,768,664)	(611,303,726)
(売買損益相当額)	(△156,274,349)	(△155,068,621)
分配準備積立金	219,243,916	328,887,415

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 45 期	第 46 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,898,087円	17,776,631円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	127,403,035	111,694,184
(c) 収益調整金	588,768,664	611,303,726
(d) 分配準備積立金	95,999,718	215,850,959
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	824,069,504	956,625,500
(f) 分配金	16,056,924	16,434,359
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	808,012,580	940,191,141
(h) 受益権総口数	1,070,461,640口	1,095,623,999口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
	第 45 期	第 46 期
1 万 口 当 り 分 配 金	150円	150円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンド

運用報告書 第28期（決算日 2019年11月11日）

（作成対象期間 2019年5月11日～2019年11月11日）

ダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	わが国の金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）の不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券
投資信託証券組入制限	無制限

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		東証ＲＥＩＴ指数(配当込み)		投資信託証券組入比率	不動産投信指数先物比率
	円	%	(参考指数)	%	%	%
(期首)2019年5月10日	27,810	—	3,823.37	—	98.7	—
5月末	28,354	2.0	3,889.57	1.7	98.8	—
6月末	28,766	3.4	3,947.76	3.3	98.6	—
7月末	30,035	8.0	4,120.33	7.8	98.8	—
8月末	31,333	12.7	4,275.94	11.8	98.2	—
9月末	32,894	18.3	4,477.77	17.1	97.9	—
10月末	33,959	22.1	4,625.77	21.0	97.7	1.3
(期末)2019年11月11日	32,763	17.8	4,467.84	16.9	97.4	1.9

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。

上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注3) 不動産投信指数先物比率は買建比率－売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：27,810円 期末：32,763円 騰落率：17.8%

【基準価額の主な変動要因】

事業環境の良好さに比して割安感があるＪリート市場に注目が集まったことなどを背景にＪリート市況が上昇したことにより、基準価額も上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○Ｊリート（不動産投信）市況

Ｊリート市況は上昇しました。

Ｊリート市況は、当作成期首より、世界的に金融政策が緩和方向となる中で各国の長期金利が低下し、Ｊリート市場の相対的に高い配当利回りに注目が集まり、上昇しました。9月以降は長期金利が上昇する局面もありましたが、Ｊリート市場の下落幅は限定的で、10月末までは上昇基調が継続しました。11月に入ると、日米長期金利の上昇や東証ＲＥＩＴ指数が2007年以来の高値をつけたことなどから利益確定とみられる売りが入り、当作成期末にかけて下落しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資し、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

◆ポートフォリオについて

リーートの組入比率につきましては、通常の状態では信託財産の純資産総額の80%程度以上に維持することを基本としており、おおむね95～98%台程度で推移させました。また、東証ＲＥＩＴ指数先物への投資も行い、先物と合計で95～100%程度で推移させました。リーート銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資しました。個別銘柄では、当作成期を通じてみると、ジャパンリアルエステイト、森ヒルズリート、大和ハウスリートなどを東証ＲＥＩＴ指数と比較してオーバーウエートとし、日本ビルファンド、ユナイテッド・アーバン、ＧＬＰ等をアンダーウエートとしました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当ファンドは、参考指数として東証ＲＥＩＴ指数（配当込み）を用いています。当作成期における参考指数の騰落率は16.9%となりました。一方、当ファンドの基準価額の騰落率は17.8%となりました。

投資口価格のパフォーマンスが参考指数を上回った日本プロロジスリート、野村不動産マスターファンド、大和ハウスリートをオーバーウエートとしていたことや、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回ったジャパン・ホテル・リートをアンダーウエートとしていたことなどがプラスに寄与しました。他方、投資口価格のパフォーマンスが参考指数を下回った星野リゾート・リートや福岡リートをオーバーウエートとしていたこと、参考指数を上回ったユナイテッド・アーバンや阪急阪神リートをアンダーウエートとしていたことなどが、マイナス要因となりました。

《今後の運用方針》

個別銘柄ごとの流動性を勘案しつつＪリートに幅広く分散投資を行い、配当等収益の確保と信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。銘柄の選択にあたっては、収益力や成長性に比して相対的に割安と判断された銘柄群の中から、財務体質や流動性を加味して選別投資します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (先物・オプション) (投資信託証券)	16円 (0) (16)
有価証券取引税	－
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	16

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲の「1 万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。
 (注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

(1) 投資信託証券

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
国内	200.878	27,613,684	160.544 (－)	34,989,906 (－)

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) 売付(－)内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注 3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の種類別取引状況

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

種 類 別		買 建		売 建	
		新規買付額	決 済 額	新規売付額	決 済 額
国 内	不動産投信指数先物取引	百万円 2,303	百万円 －	百万円 －	百万円 －

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄
 投資信託証券

(2019年5月11日から2019年11月11日まで)

当				期			
買		付		売		付	
銘	柄	口 数	金 額 平均単価	銘	柄	口 数	金 額 平均単価
		千口	千円 円			千口	千円 円
G L P 投資法人		15.383	2,075,072 134,893	日本プロロジスリート		16.21	4,820,799 297,396
日本ビルファンド		2.251	1,786,175 793,503	ジャパンリアルエステイト		5.472	3,945,592 721,051
野村不動産マスターF		10.558	1,773,139 167,942	野村不動産マスターF		20.031	3,646,600 182,047
日本ロジスティクスファンド投資法人		5.756	1,583,775 275,152	オリックス不動産投資		10.014	2,256,701 225,354
いちごオフィスリート投資法人		14.394	1,512,561 105,082	ヒューリックリート投資法		11.133	2,155,988 193,657
ジャパン・ホテル・リート投資法人		15.976	1,383,516 86,599	日本プライムリアルティ		4.213	2,122,672 503,838
大和ハウスリート投資法人		5.094	1,326,139 260,333	ユナイテッド・アーバン投資法人		7.642	1,529,565 200,152
日本リテールファンド		4.85	1,054,177 217,356	三井不ロジパーク		2.933	1,221,749 416,552
A P I 投資法人		2.04	1,000,179 490,284	阪急阪神リート投資法人		7.377	1,198,724 162,494
ケネディクス・オフィス投資法人		1.285	999,513 777,831	日本リテールファンド		4.93	1,075,697 218,194

(注 1) 金額は受渡し代金。
 (注 2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
不動産ファンド	千口	千円	%
サンケイリアルエステート	4.973	603,722	0.5
日本アコモデーションファンド投資法人	0.012	8,088	0.0
MCUBS MidCity投資法人	16.391	1,901,356	1.6
森ヒルズリート	30.568	5,276,036	4.4
産業ファンド	11.933	1,989,231	1.7
アドバンス・レジデンス	8.507	2,960,436	2.5
ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人	13.322	2,800,284	2.3
A P I 投資法人	5.746	3,229,252	2.7
G L P 投資法人	26.265	3,509,004	2.9
コンフォリア・レジデンシャル	6.328	2,192,652	1.8
日本プロロジスリート	8.872	2,604,819	2.2
星野リゾート・リート	4.014	2,300,022	1.9
イオンリート投資	3.825	558,832	0.5
ヒューリックリート投資法	4.391	879,078	0.7
日本リート投資法人	1.411	665,286	0.6
インベスコ・オフィス・Jリート	151.926	3,102,328	2.6
積水ハウス・リート投資	37.871	3,609,106	3.0
ケネディクス商業リート	5.747	1,591,344	1.3
ヘルスケア&メディカル投資	3.353	443,266	0.4
野村不動産マスターF	36.272	7,076,667	5.9
ラサールロジポート投資	14.563	2,341,730	1.9
三井不ロジパーク	4.155	1,832,355	1.5
大江戸温泉リート	5.102	488,261	0.4
森トラスト・ホテルリート投	6.304	890,124	0.7
三菱地所物流ＲＥＩＴ	0.706	246,394	0.2
ＣＲＥロジスティクスファンド	6.555	884,925	0.7
ザイマックス・リート	7.448	973,453	0.8
伊藤忠アドバンスロジ	2.8	332,920	0.3
日本ビルファンド	8.841	7,055,118	5.9
ジャパンリアルエステイト	11.496	8,219,640	6.8
日本リテールファンド	20.53	4,990,843	4.1
オリックス不動産投資	16.51	3,894,709	3.2
日本プライムリアルティ	2.602	1,299,699	1.1
プレミアム投資法人	7.901	1,238,086	1.0
グローバル・ワン不動産投資法人	1.733	239,673	0.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	9.197	1,968,158	1.6
森トラスト総合リート	12.611	2,404,917	2.0
インヴィンシブル投資法人	47.915	3,052,185	2.5
フロンティア不動産投資	2.778	1,325,106	1.1
日本ロジスティクスファンド投資法人	5.756	1,577,719	1.3
福岡リート投資法人	11.464	2,080,716	1.7
ケネディクス・オフィス投資法人	5.774	4,734,680	3.9

フ ァ ン ド 名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
	千口	千円	%
いちごオフィスリート投資法人	14.394	1,566,067	1.3
大和証券オフィス投資法人	2.55	2,136,900	1.8
スターツプロシード投資法人	2.867	570,246	0.5
大和ハウスリート投資法人	25.134	7,552,767	6.3
ジャパン・ホテル・リート投資法人	42.372	3,686,364	3.1
日本賃貸住宅投資法人	18.943	1,865,885	1.5
ジャパンエクセレント投資法人	2.762	503,788	0.4
合 計	口 数 、 金 額	703.49	117,254,249
	銘柄数<比率>	49銘柄	<97.4%>

※サンケイリアルエステート、産業ファンド、アドバンス・レジデンス、ケネディクス・レジデンシャル・ネクスト投資法人、A P I 投資法人、G L P 投資法人、コンフォリア・レジデンシャル、日本プロロジスリート、イオンリート投資法人、ヒューリックリート投資法人、積水ハウス・リート投資法人、ケネディクス商業リート、三井不ロジパーク、三菱地所物流ＲＥＩＴ、ＣＲＥロジスティクスファンド、オリックス不動産投資、グローバル・ワン不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人、フロンティア不動産投資、ケネディクス・オフィス投資法人、大和証券オフィス投資法人、大和ハウスリート投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本賃貸住宅投資法人につきましては、各ファンドで開示されている直近の有価証券報告書または有価証券届出書において、当社の利害関係人等（投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定されている法人等をいいます。）である大和証券、大和リアル・エステート・アセット・マネジメントが当該ファンドの運用会社または一般事務受託会社となっています。
(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 先物取引の銘柄別期末残高（評価額）

銘 柄 別	当 期 末	
	買 建 額	売 建 額
国 内	百万円	百万円
東証ＲＥＩＴ	2,232	—

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年11月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託証券	117,254,249	96.4
コール・ローン等、その他	4,342,803	3.6
投資信託財産総額	121,597,052	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年11月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	122,319,052,638円
コール・ローン等	2,111,970,897
投資信託証券(評価額)	117,254,249,620
未収入金	903,055,222
未収配当金	1,263,930,899
差入委託証拠金	785,846,000
(B) 負債	1,930,707,682
未払金	1,088,216,677
未払解約金	120,491,000
差入委託証拠金代用有価証券	722,000,000
その他未払費用	5
(C) 純資産総額(A－B)	120,388,344,956
元本	36,745,478,210
次期繰越損益金	83,642,866,746
(D) 受益権総口数	36,745,478,210口
1万口当り基準価額(C／D)	32,763円

＊期首における元本額は38,918,513,788円、当作成期間中における追加設定元本額は3,531,991,099円、同解約元本額は5,705,026,677円です。

＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、安定重視ポートフォリオ（奇数月分配型）12,014,238円、インカム重視ポートフォリオ（奇数月分配型）10,891,184円、成長重視ポートフォリオ（奇数月分配型）53,821,845円、6資産バランスファンド（分配型）102,549,737円、6資産バランスファンド（成長型）235,028,347円、世界6資産均等分散ファンド（毎月分配型）32,905,573円、『しがぎん』SRI三資産バランス・オープン（奇数月分配型）1,384,668円、ダイワ資産分散インカムオープン（奇数月決算型）33,022,502円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／安定コース）210,043,057円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／6分散コース）269,753,774円、DCダイワ・ワールドアセット（六つの羽／成長コース）355,736,177円、DCダイワＪ－ＲＥＩＴアクティブファンド371,128,174円、ダイワファンドラップＪ－ＲＥＩＴセレクト34,266,908,880円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（成長型）72,408,222円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（安定型）25,640,731円、ライフハーモニー（ダイワ世界資産分散ファンド）（分配型）118,696,450円、ダイワ・アクティブJリート・ファンド（年4回決算型）573,544,651円です。

＊当期末の計算口数当りの純資産額は32,763円です。

■損益の状況

当期 自2019年5月11日 至2019年11月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,118,451,818円
受取配当金	2,118,721,891
受取利息	1,754
その他収益金	428
支払利息	△ 272,255
(B) 有価証券売買損益	17,823,177,858
売買益	17,876,930,600
売買損	△ 53,752,742
(C) 先物取引等損益	△ 71,183,520
取引損	△ 71,183,520
(D) その他費用	△ 3,154
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	19,870,443,002
(F) 前期繰越損益金	69,312,589,166
(G) 解約差損益金	△12,438,567,323
(H) 追加信託差損益金	6,898,401,901
(I) 合計(E＋F＋G＋H)	83,642,866,746
次期繰越損益金(I)	83,642,866,746

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。